

## ⑧ 姥ヶ原・谷地平湿原 (若宮・吾妻山)

浄土平より西へ約1時間登ると姥ヶ原に着きます。雪解けの5月から秋にかけて高山植物が次々と可憐な花を咲かせ、その西端には石造の姥神様が鎮座しています。さらに1時間西へ下れば谷地平に着きます。ワタスゲをはじめとする高山帯の植物が短い夏を飾っています。湿原の片端に寺屋敷と呼ばれる一角があり、白鳳寺跡と伝えられています。



マルバシモツゲ



コケモモ



谷地平湿原



イワカガミ



シシウド



オヤマリンドウ



ミズバショウ



ゴゼンタチバナ



ウメバチソウ



ショウジョウバカマ



おおやまつみじんしゃさそう

## ⑨ 大山祇神社社叢 (蚕養・大達沢)

達沢集落鎮守の杜として残された原生林で、神社の南側一帯にあります。ミズナラを主体とし、トチノキ・ミズキ・シナノキ・イタヤカエデなどの高木層、チシマザサ・エゾユズリハなどの低木層で構成されています。

福島県緑の文化財登録第346号

(県指定天然記念物)

## ⑩ 蟹沢湿原 (翁沢・菖花他)

蟹沢地区西方にある細谷地・山藁谷地・郭公花谷地の低層湿原で、オオミズゴケ・ヒメスギゴケが繁茂し、マット状の群落をつくっています。また春の早いショウジョウバカマからサギソウ・カッコウバナ・ワタスゲ・サワキキョウ・リンドウなど65科182種の草木層をみることができます。沼にはハッコウトロンボも生息しています。(町指定天然記念物)

## ⑩ 安達太良山ヤエハクサン

### シャクナゲ<sup>自生地</sup>

(若宮・横向山)

ツツジ科の常緑低木で、安達太良山を中心としたハクサンシャクナゲ大群落の中にある重弁のものをヤエハクサンシャクナゲといいます。開花期は6～7月で、花の色は白色または淡紅色です。

(県指定天然記念物)

